

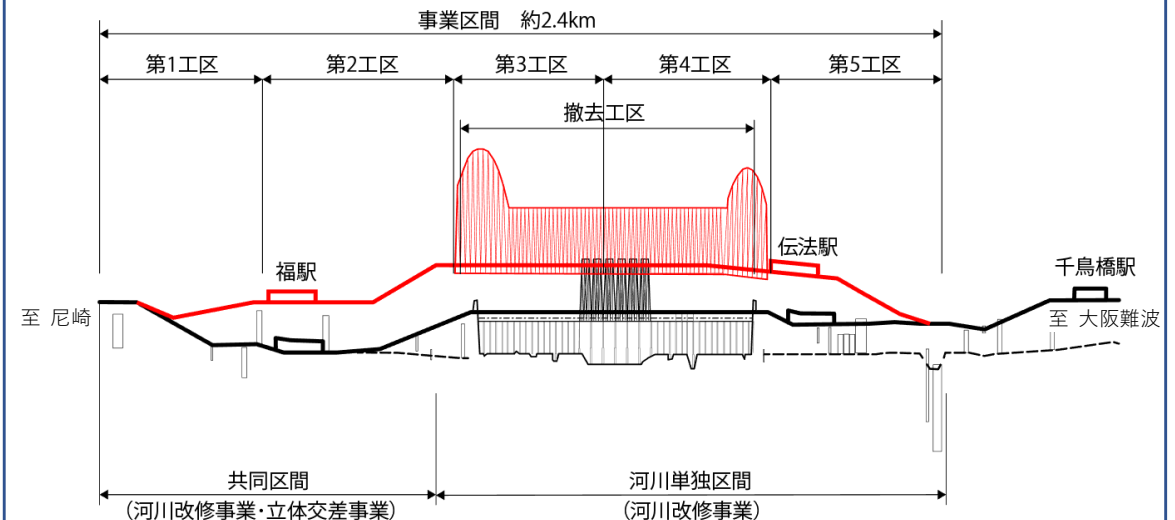
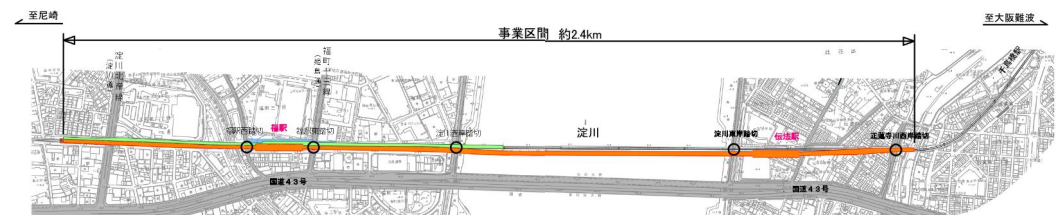
【事業概要】

現在の阪神なんば線淀川橋梁は、河川内に39本と多くの橋脚があり、桁下高が低いため、洪水の流れを障害し、大規模な洪水が発生した際には、橋梁の堰上げにより、上流で堤防が決壊する恐れがあります。また、橋梁部分は堤防を切り込む形になっており、高潮時には陸閘を閉鎖することで浸水被害を回避している状況です。

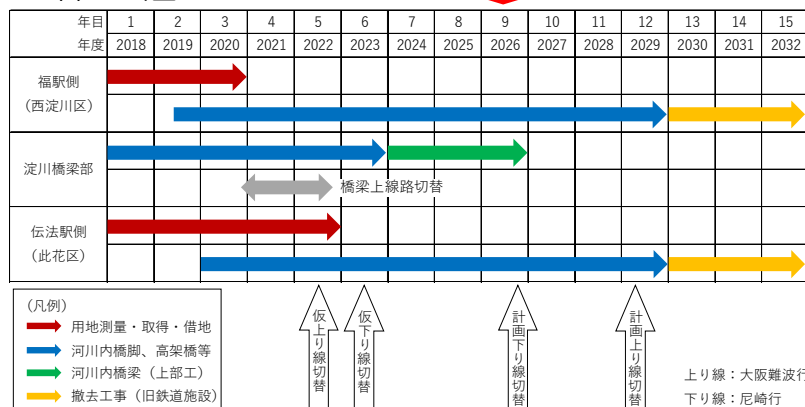
橋梁の改築により、橋脚数を減らし、桁下高を上げることで、洪水を安全に流下させるとともに、陸閘をなくす事で高潮時の安全性を確保する事が出来ます。

各工区の工事 2026年度の主な作業内容(予定)

- 1工区 淀川北岸線付近から福駅西踏切まで
躯体構築工、PC桁扛上工
- 2工区 福駅西踏切から淀川右岸まで
場所打ち杭工、躯体構築工、福駅建築設備工
- 3工区 淀川右岸から河川中心まで
上部工架設工
- 4工区 河川中心から淀川左岸まで
上部工架設工
- 5工区 淀川左岸から正蓮寺川まで
躯体構築工、PC桁架設工、伝法駅建築設備工



全体工程



全体位置図



【 2026.8～2026.9までの工事 】

①躯体構築工（上床梁、スラブ）



②躯体構築工（上床梁）



【 2026.8～2026.9までの工事 】

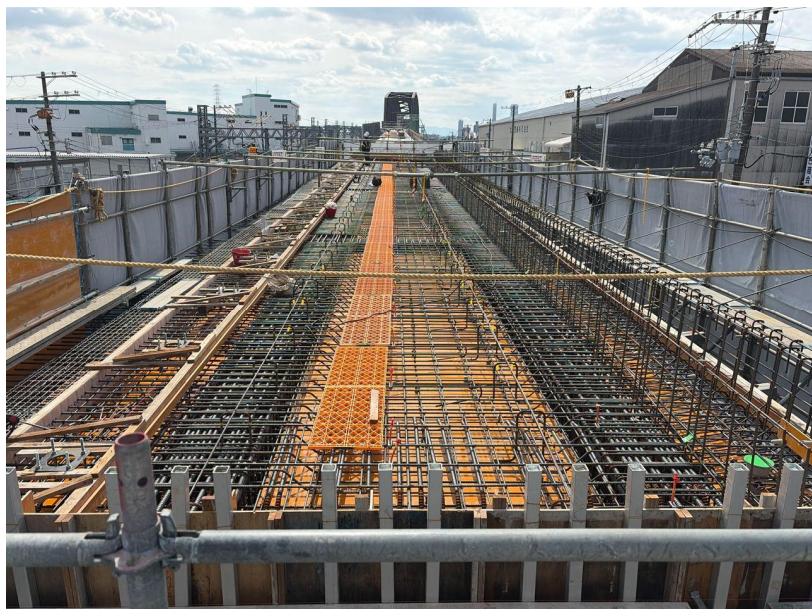
①躯体構築工（単床版）



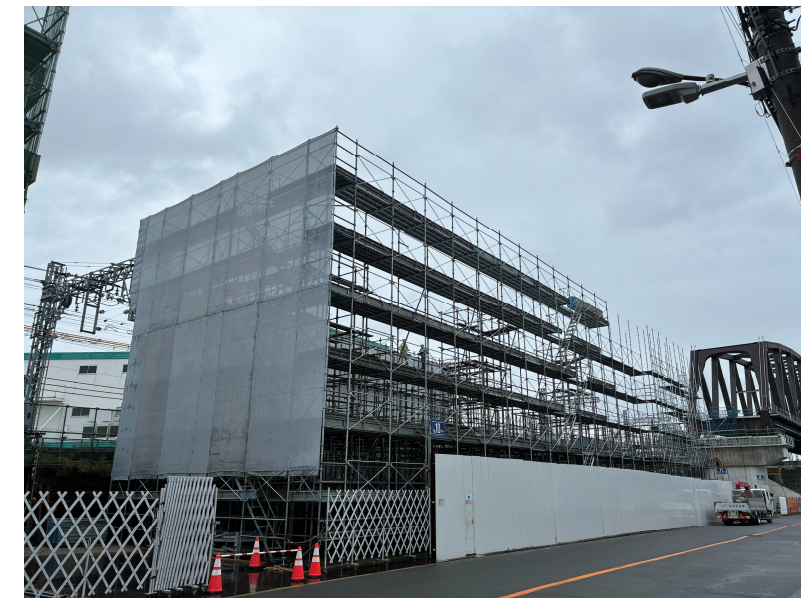
②躯体構築工（構築完了）



③躯体構築工（上床梁、スラブ）



④躯体構築工（足場支保工）



【 2026.8～2026.9までの工事 】

①上部工架設工



②上部工架設工



【 2026.8～2026.9までの工事 】

①上部工架設工



②上部工架設工



③上部工架設工



【 2026.8～2026.9までの工事 】

①躯体構築工（ホーム桁）



②躯体構築工（足場支保工）



③躯体構築工（補強土壁工）

